

CITY OF YOKOHAMA

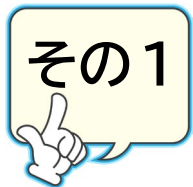
横浜市の新たながん対策の推進 (がん検診の充実等)

2024年1月30日

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

横浜市の新たな取組

1. 子宮頸がん検診における新たな検査の導入
2. 遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)検査への新たな助成
3. ブレスト・アウェアネスの推進
4. 65歳時点のがん検診を無料化に
5. 70歳以上の方の精密検査を無料化に
6. さらに受けやすいがん検診に
7. 小児・AYA世代(15～39歳)向けの新たな取り組み

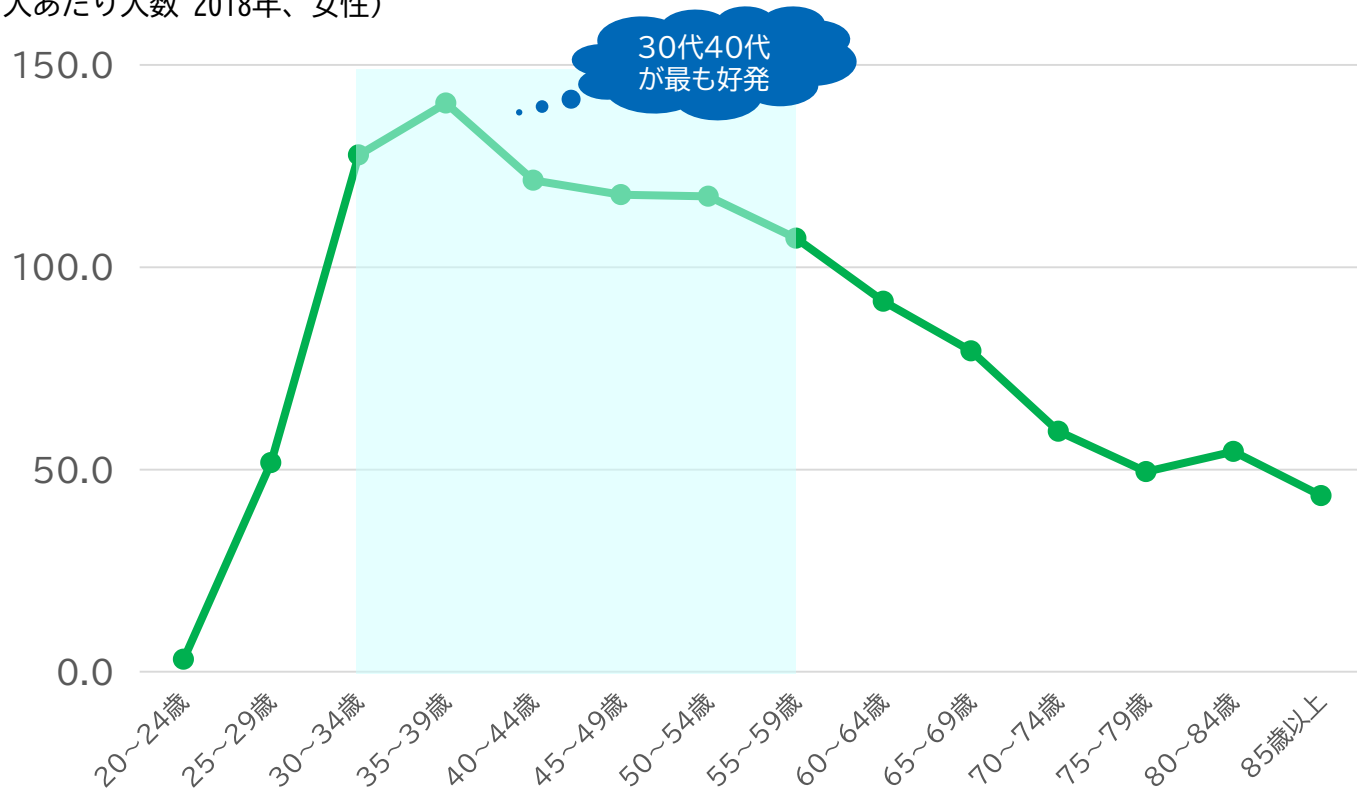


子宮頸がん検診における新たな検査の導入 **【新規】**

- ・ 欧米で推奨されている検査を、
全国に先がけて、新たに導入

子宮頸がん・年齢階級別 罹患率（横浜市）

（人口10万人あたり人数 2018年、女性）



子宮頸がん

診断時ステージ別の5年生存率（日本産科婦人科学会）

がんの進行の度合い ↓

診断時のステージ	5年後の生存率
ステージⅠ	92.3%
ステージⅡ	77.0%
ステージⅢ	56.1%
ステージⅣ	30.3%

● 診断された時のステージが早いほど
生存率は高い

● ステージが早いと無症状
のことが多い

出典：公益社団法人 日本産科婦人科学会 婦人科腫瘍委員会報告 第64回治療年報 2023年12月
2016年に治療した子宮頸癌、子宮体癌、卵巣・卵管・腹膜腫瘍（悪性）、卵巣・卵管腫瘍（境界悪性）、希少癌の5年治療成績について
日産婦誌75巻12号/1540ページ/Table5. 5-Year Survival by Stage,Treatment in 2016

子宮頸がんの検診

	対象年齢	受診間隔	内容
日本の標準的な子宮頸がん検診	20歳以上	2年に1回	細胞診



	対象年齢	受診間隔	内容
横浜市の新たな検診	30-60歳	5年に1回	HPV検査
	20-29歳、61歳以上	2年に1回	細胞診

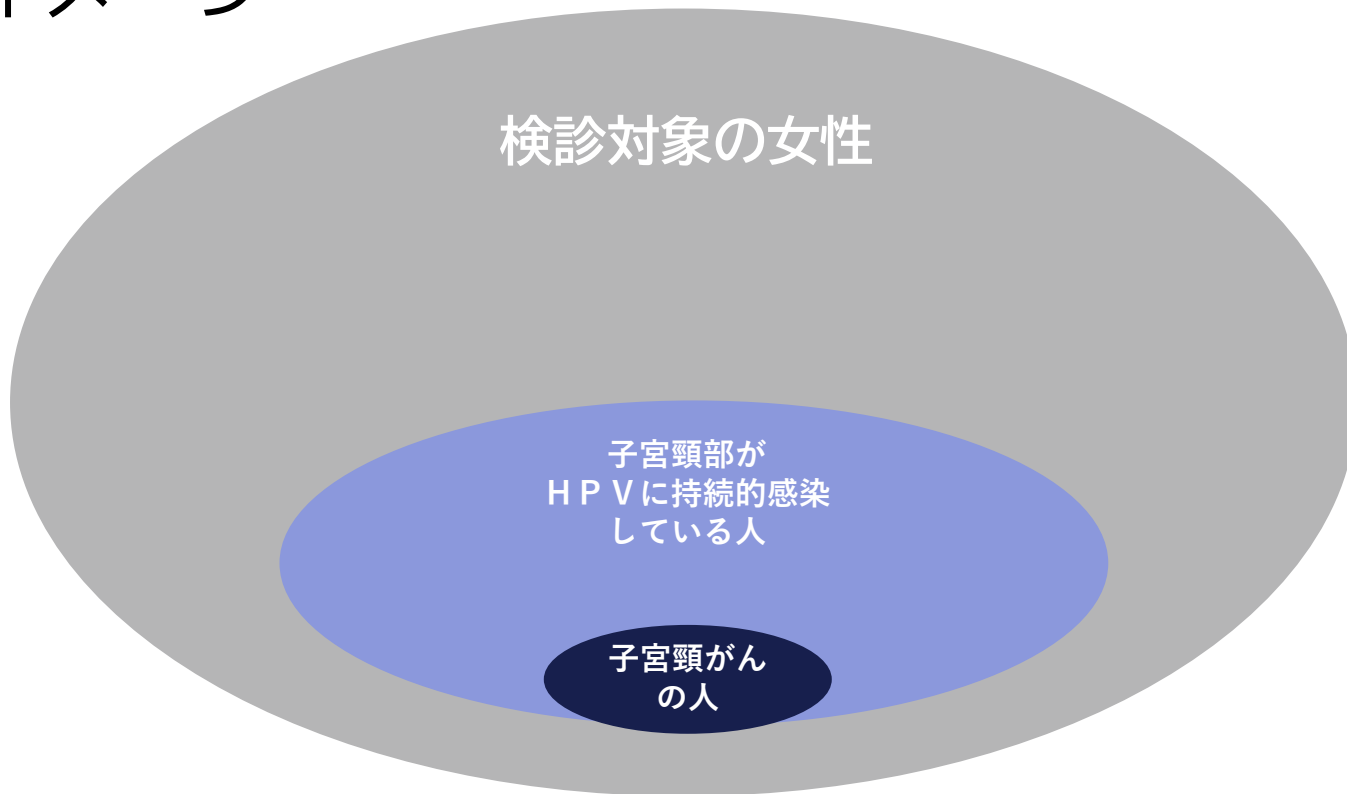
- 細胞診

異常な細胞があるかないか顕微鏡で調べる検査

- HPV検査

HPV感染の有無を調べる検査

イメージ

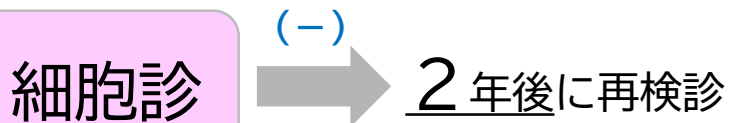


HPV（ヒトパピローマウイルス）とは

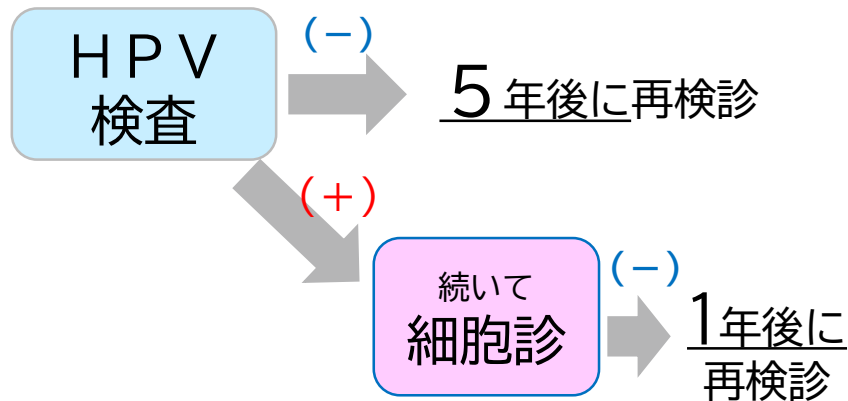
性交が主な感染源で、経験を有する人の多くが生涯に一度はHPVに感染する。ほとんどは1年～2年以内に自然に消退するが、一部の人は持続感染して子宮頸がんの原因となる

HPV検査の導入後のイメージ

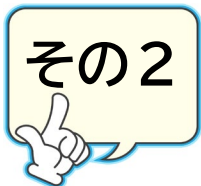
現在の検診手法



新しい検診手法 (30~60歳の方)



- **多くの受診者は検査間隔が2年から5年ごとに**
 - がん検診の未受診理由で最も多いのは「受ける時間がないから」
→ 検診受診の負担を軽減することで、受けやすくなる
- **一律の細胞診の実施から、高リスク者に絞った細胞診に**
 - 細胞診の対象を「トライージ」する考え方の導入



遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）検査の助成 【新規】

HBOC：Hereditary Breast and Ovarian Cancer

- がんの原因の多くは環境要因（年齢、喫煙、飲酒、食生活等）。ごく一部のがんが遺伝要因。
- HBOCは遺伝要因の代表例で、高い確率でがんを発症することが知られている。若年でも発症の傾向あり。

生涯でがんになり患する確率（累積がんり患リスク）			
乳がん（女性）	全体※1	11.2%	8.9人に1人
	HBOC※2	46~87%	2.2~1.2人に1人
卵巣がん	全体※1	1.6%	62.5人に1人
	HBOC※2	39~63%	2.6~1.6人に1人

※2 HBOCはBRCA1保因者のみ

がん未発症の方で
親・子・きょうだいでHBOCがいる方の

自治体初！

遺伝カウンセリングや遺伝子検査を受ける費用助成
をあらたに開始

補助スキーム（予定）	対象経費	補助率	上限額
遺伝カウンセリング	自費診療で支払った額	7/10	1万円
遺伝子検査	自費診療で支払った額	7/10	3万円

その3

ブレスト・アウェアネスの推進【新規】

- 企業向けのメルマガを活用したがん情報発信
- 特にブレスト・アウェアネス（乳房を意識した生活習慣）の啓発

ブレストアウェアネスのポイント

STEP 1

自分の乳房の
状態を知る



STEP 2

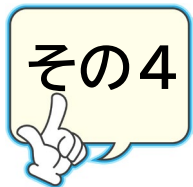
乳房の変化に
気を付ける



STEP 3

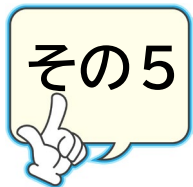
変化に気づいたら
すぐに医師に相談

40歳になったら
2年に1回
乳がん検診受診



65歳になった方ががん検診を無料化へ【新規】

- ・ 受診習慣のなかった方への受診を促進します
- ・ 勤務先の制度で受診していた方の退職後の定期的な受診に結び付けます



70歳以上の方の精密検査を無料化へ【新規】

- ・無料化により、がん検診から精密検査までの**一体的な受診**を促します

※これまで70歳以上の方はがん検診のみが無料

その6

さらに受けやすいがん検診に

- **胃がん検診値下げ** 【新規】 自己負担額 3,140円→2,500円
- **大腸がん検診の自己負担額を無料** 【継続】
- 対象者の受診状況に応じた
オーダーメイドのメッセージで受診勧奨 【新規】

ナッジを活用！





メタバースによる小児がん患者の交流支援【新規】

- ▶ 同世代との交流が制限されてしまう

小児がんのお子さんが楽しめる交流の場を提供

プロモーション動画の作成【新規】

- ▶ 治療を受けているお子さんやご家族の日常などを紹介する

動画を作成し、小児がんへの理解を促進

妊よう性温存療法に関する助成【新規】

- ▶ 子どもを産み育てることを望むがん患者に対して、

県の助成対象外となる「カウンセリング」や「卵子・精子等の凍結更新」にかかる費用の補助を開始